

東証プライム上場
証券コード：4547

明日の健康を見つめる



個人投資家向け会社説明会

2026.02.06 Fri

AGENDA

本日のアジェンダ

- 01 医薬品業界について
- 02 会社概要
- 03 事業紹介
- 04 成長戦略
- 05 株主還元方針



医薬品業界について

医薬品とは

医薬品には、大きく分けて医療用医薬品とOTC医薬品の2つの区分がある。

医薬品全体の金額ベースにおける市場割合は、医療用医薬品が約90%、OTC医薬品が約10%である。

医薬品

医療用医薬品

90%

- 病院などで医師の診察を受けた後、薬局で受け取るくすり
- 医師が処方箋を作り、それを基に薬局の薬剤師が調剤する

新薬（先発医薬品）

- 長い研究開発期間をかけ新成分の有効性・安全性が確認された後、国の承認を受け発売される医療用医薬品
- 開発した製薬企業には発売後も一定期間（再審査期間）、有効性・安全性について確認することが義務づけられる

ジェネリック医薬品（後発医薬品）

- 新薬の再審査期間が終了し、特許権存続期間が満了した際に製造・販売可能な、新薬と同じ有効成分の医薬品

OTC医薬品 (Over The Counter Drug)

10%

一般用医薬品

- 薬局や薬店で市販されているくすり
- 消費者の判断で購入・使用できるため、有効性とともに安全性が重視される

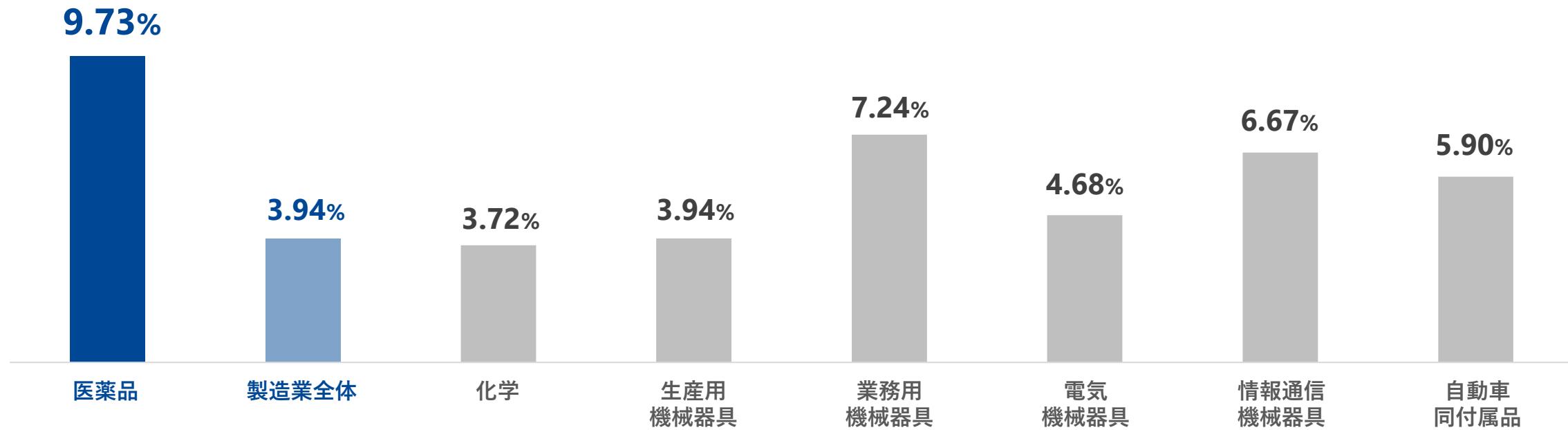
要指導医薬品

- OTC医薬品となって3年以内のくすりと、毒薬および劇薬を指す
- 薬剤師の対面による情報提供が必要なくすり

医薬品業界と研究開発費

製薬産業の売上に占める研究開発費は非常に高く、製造業全体の2倍以上となっている。
企業の成長は優れた新薬の継続的な開発にかかっているため、研究開発への投資は非常に重要である。

産業別研究開発費の対売上高比率（2022年）

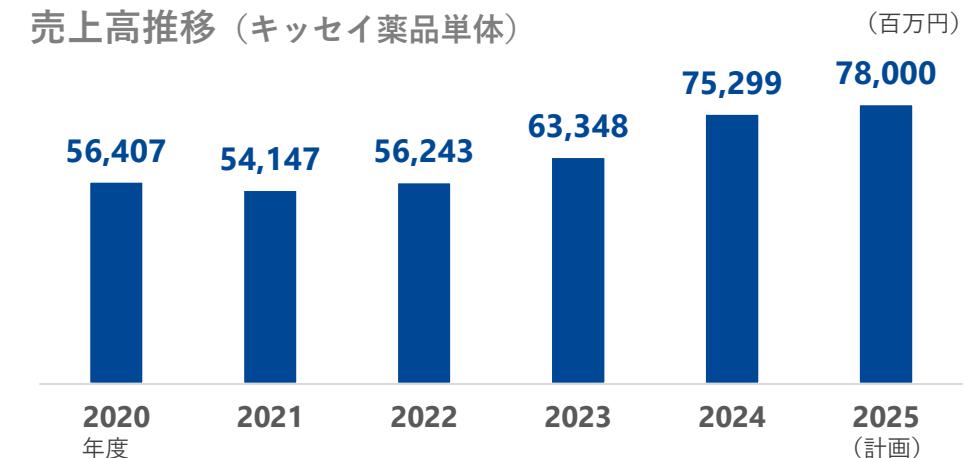


注1：ここで記載の研究開発費とは、総務省「科学技術研究調査」で定義される社内使用研究費のことであり、自己資金および外部（社外）から受け入れた資金のうち社内で使用した研究費をいう。
委託研究・共同研究などの外部（社外）へ支出した研究費は含まない。

キッセイ薬品の強み

創薬研究開発型企業

研究開発費の対売上高比率は、医薬品業界の平均を上回る**20.22%**
(10年平均／キッセイ薬品単体) であり、研究開発に注力することにより新薬を創出し右肩上がりの売上を実現している。
また、開発する薬剤の数を増やし次世代の主力製品の開発を進めている。



重点領域におけるプレゼンス

重点領域として泌尿器領域と腎・透析領域、希少疾病・難病領域を中心[newline]新薬ラインナップを揃え、病気に苦しむ患者さんに新たな治療選択肢を提供している。

(百万円)

発売年	領域	製品名	2025年通期計画
2018年	泌尿器	ベオーバ	21,000
2022年	希少疾病・難病	カログラ	1,200
2022年	希少疾病・難病	タブネオス	11,800
2023年	希少疾病・難病	タバリス	3,700
2023年	腎・透析	コルスバ	8,000



会社概要

今年、創立80周年を迎えます



創業間もない頃の本社・松本工場

商号	キッセイ薬品工業株式会社
代表取締役会長	神澤 陸雄
代表取締役社長	竹花 泰雄
創立	1946年8月9日
資本金	243億5,600万円（東京証券取引所 プライム：4547）
従業員数	連結：1,778名 単体：1,301名（2025年3月末時点）
本社所在地	長野県松本市芳野19番48号 東京都文京区小石川3丁目1番3号
事業内容	医療用医薬品の研究・開発・製造・販売 特別用途食品等の開発・販売

経営理念

純良医薬品を通じて社会に貢献する
会社構成員を通じて社会に奉仕する

経営ビジョン

世界の人びとの健康に貢献できる
独創的な医薬品を開発し提供する創薬研究開発型企業を目指す

信念

研究開発なくして製薬企業にあらず



キッセイ薬品の歴史はこちら

<https://www.kissei.co.jp/abouts/history/>



キッセイ薬品の歩み

売上高

億円

1000

800

600

400

200

0

1961
消化管内ガス駆除剤
ガスコン1982
アレルギー性疾患
治療薬 リザベン2004
糖尿病治療薬
グルファスト2006
排尿障害改善薬
ユリーフ2011
糖尿病治療薬
グルベス配合2015
高リン血症治療薬
ピートル2018
過活動膀胱
治療薬ベオーバ2022
潰瘍性大腸炎
治療薬カログラ2022
MPA^{※1}・GPA^{※2}
治療薬タブネオス2023
慢性ITP^{※3}
治療薬タバリス2023
透析そく痒症
治療薬コルスバ2022
東証プライム移行1991
東証1部上場1988
東証2部上場

連結開始

1950

1960

1970

1980

1990

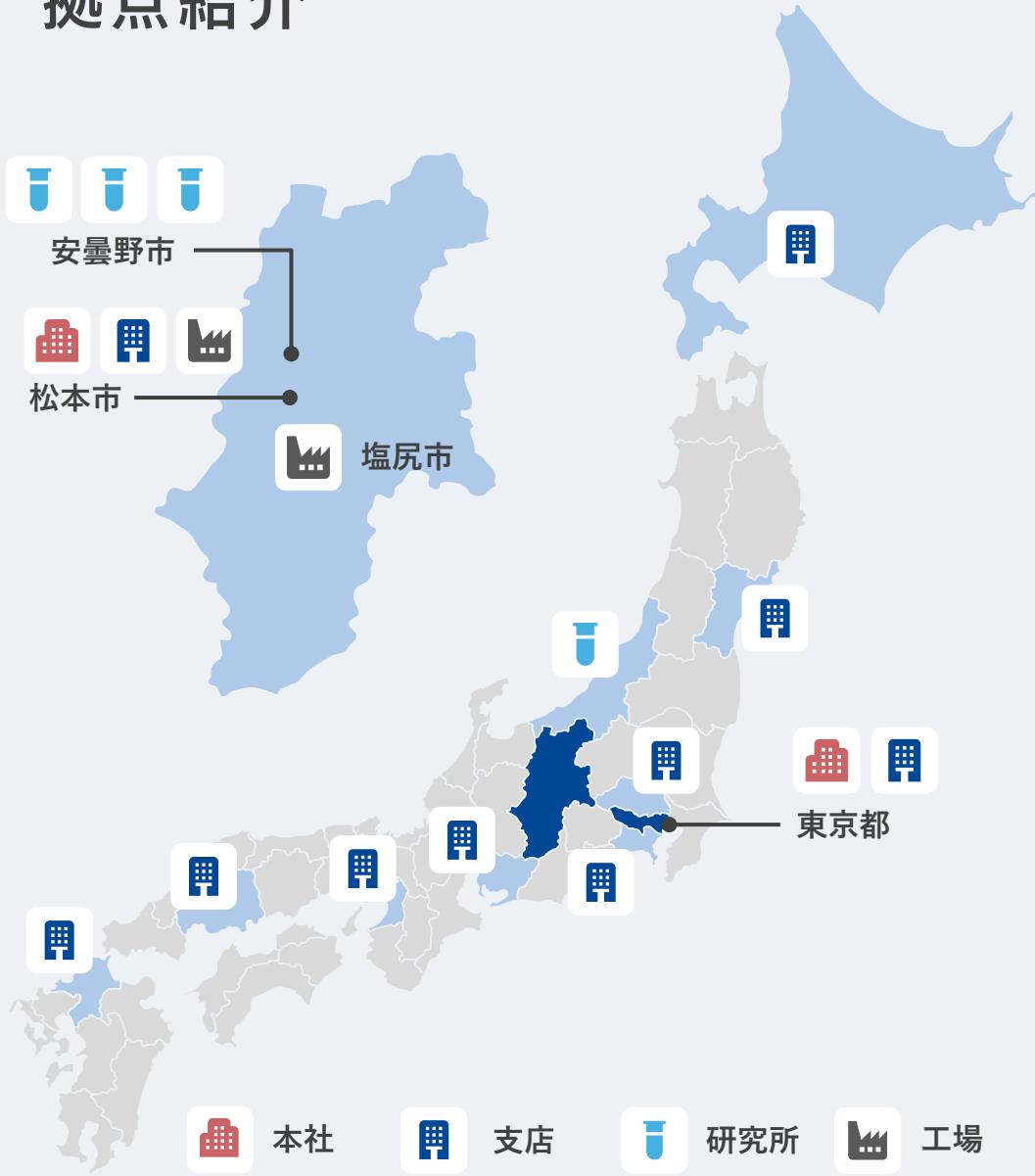
2000

2010

2020

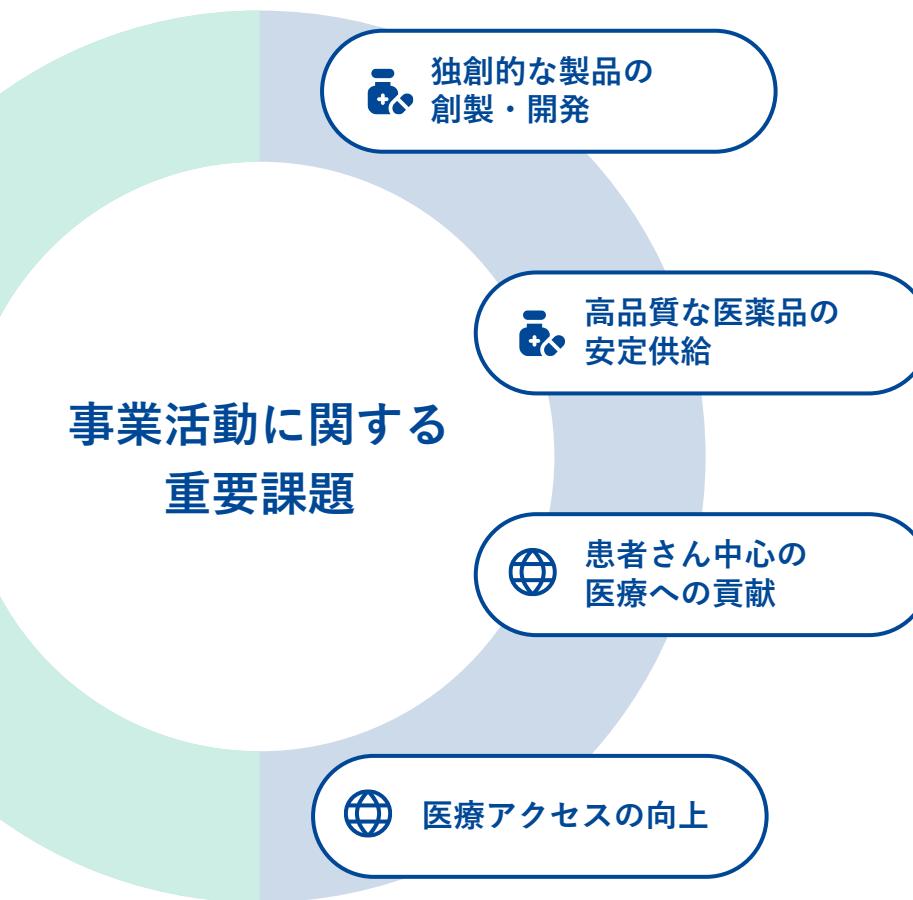
2029

拠点紹介



サスティナビリティの取り組み①

事業活動を通じた持続可能な社会の実現に向けて、当社が優先的に取り組むべき重要課題を特定している。



創薬研究開発型企業として

世界の人々の健康に貢献するため、新たな治療薬の開発、販売を行い、
継続的に医療現場へ届けていく。

P8

P18-21

医療アクセス向上に向けて

- ✓ おしっこ新ライフ
- ✓ 透析新ライフ
- ✓ 女性のためのヘルスナビ
- ✓ ANCA関連血管炎



患者さん向け情報サイトはこちら
<https://www.kissei.co.jp/patient/>



サスティナビリティの取り組み②

地球環境や社会課題の解決を目指し、企業価値向上と持続可能な社会の同時実現を目指している。

環境への取り組み



CDP2025

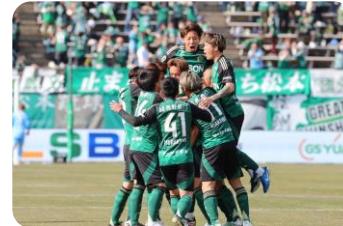
国際環境非営利団体・CDPより気候変動において最高評価である「Aリスト」に選定された。

文化・スポーツへの貢献



©山田毅/2025OMF

セイジ・オザワ
松本フェスティバル



©松本山雅

松本山雅
フットボールクラブ

健康への貢献



公益財団法人神澤医学研究振興財団
財団活動を通じて医療の発展に寄与していく。

環境経営の推進

地域社会との共存共栄



キッセイ文化ホール
ネーミングライツ
(長野県松本文化会館)

経営戦略を実現する 創造性のある人材の育成

ガバナンスの強化

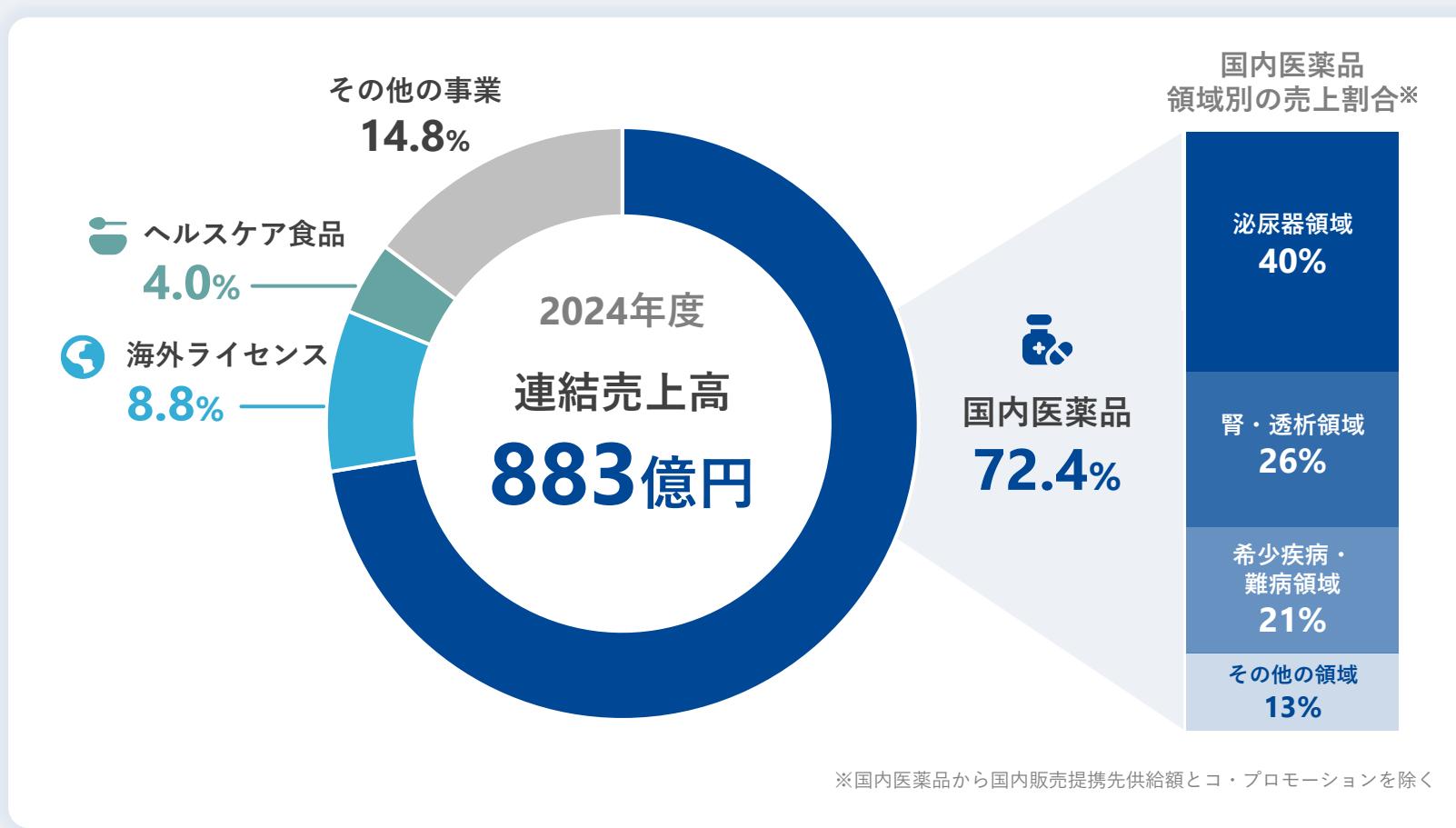
経営基盤に 関する重要課題



事業紹介

事業領域の全体像

領域戦略として泌尿器領域、腎・透析領域、希少疾病・難病領域を中心に新薬をラインナップ。
創製品はパートナー企業により海外でも販売されている。



泌尿器領域



過活動膀胱治療薬
ペオーバ

P18

腎・透析領域



透析そう痒症治療薬
コルスバ

P19

希少疾病・難病領域



顯微鏡的多発血管炎、
多発血管炎性肉芽腫症治療薬
タブネオス

P20



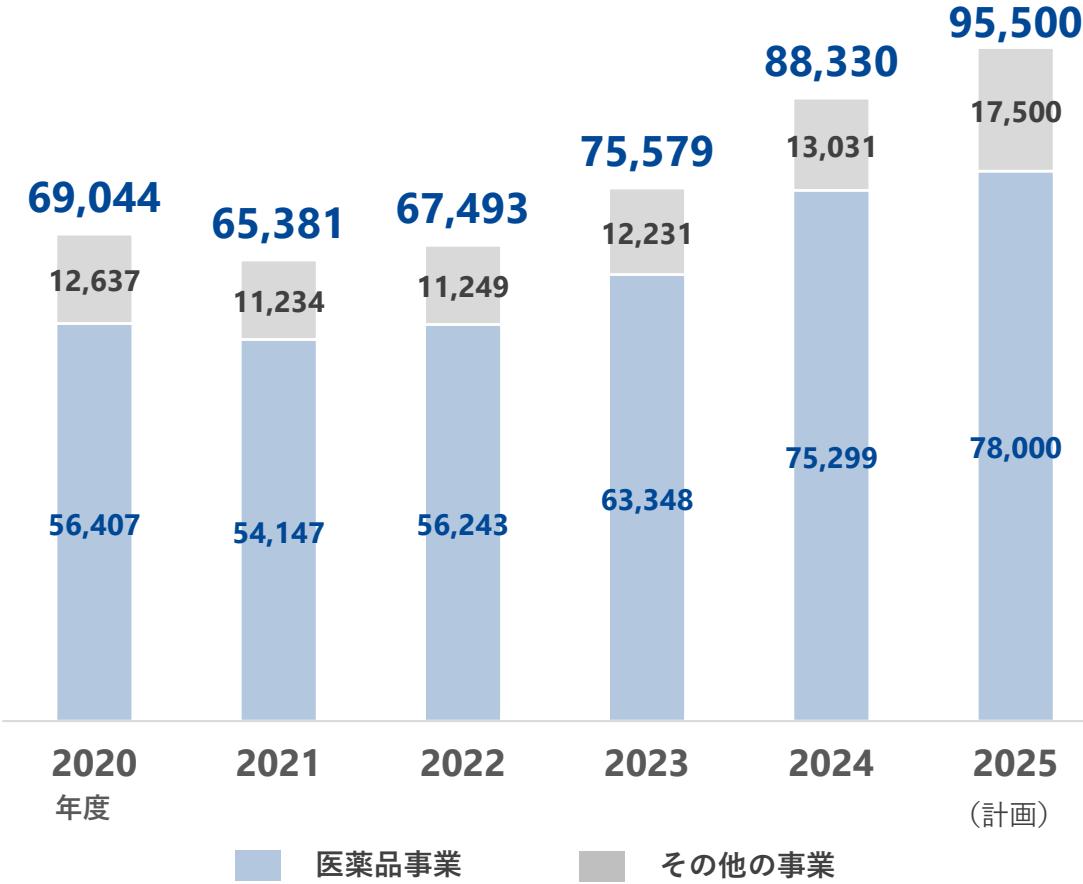
慢性特発性血小板減少性
紫斑病治療薬
タバリス

P21

売上高・営業利益

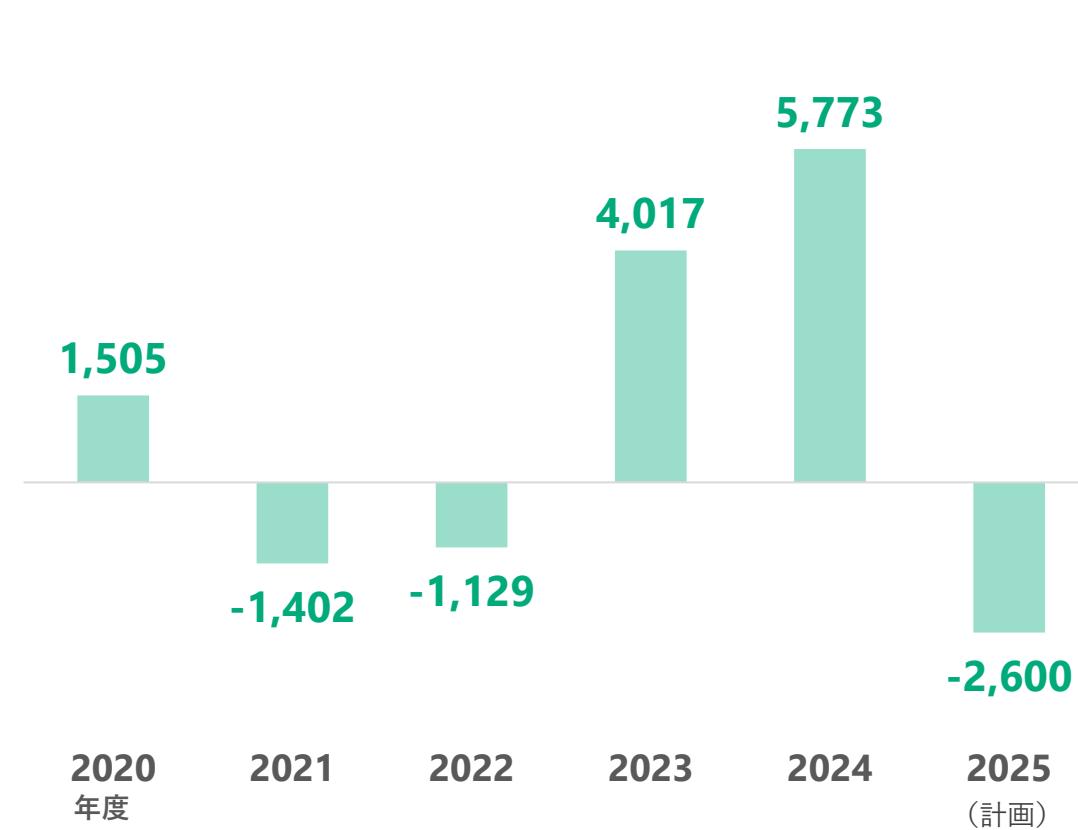
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



Veligrotug、Elegrabartの技術導入契約

2025年7月に日本での開発権と販売権を米国企業（ビリジアン社）より取得した。

契約一時金約100億円を研究開発費として計上。いずれも甲状腺眼症の治療薬として開発を進めている。



Veligrotug

静脈内投与の注射剤。
海外では既にビリジアン社による
最終の臨床試験（第Ⅲ相）が完了。



Elegrabart

皮下投与（皮膚の比較的浅い部分）の注射剤。
患者さんが自分で投与することが可能。
海外ではビリジアン社が最終の臨床試験
(第Ⅲ相)を実施中。

甲状腺眼症（TED）とは

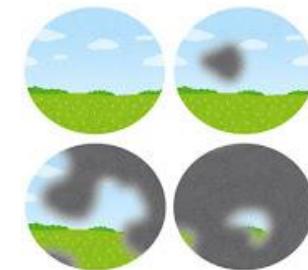
眼やその周辺の痛み、眼球突出などの症状が見られ、重症例では視力低下
や複視、視野狭窄をきたす。
バセドウ病や橋本病などによる甲状腺機能障害が原因となることが多い。

国内推定患者数

約3万5千人



複視（ものが二重に見える）



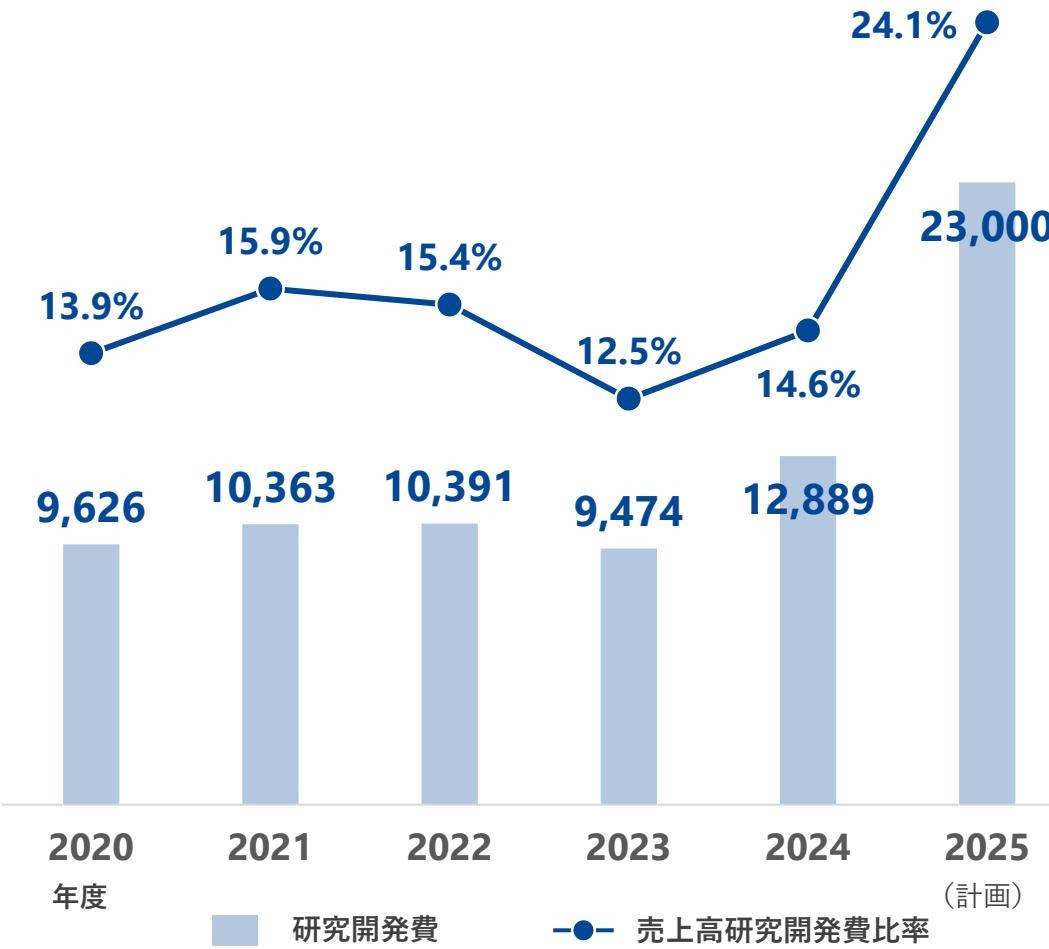
視野狭窄（視野が狭まる）

QOLを著しく損なう疾患でありながら治療法は限られており、新薬の上市が待ち望まれている。

研究開発費比率・当期純利益※

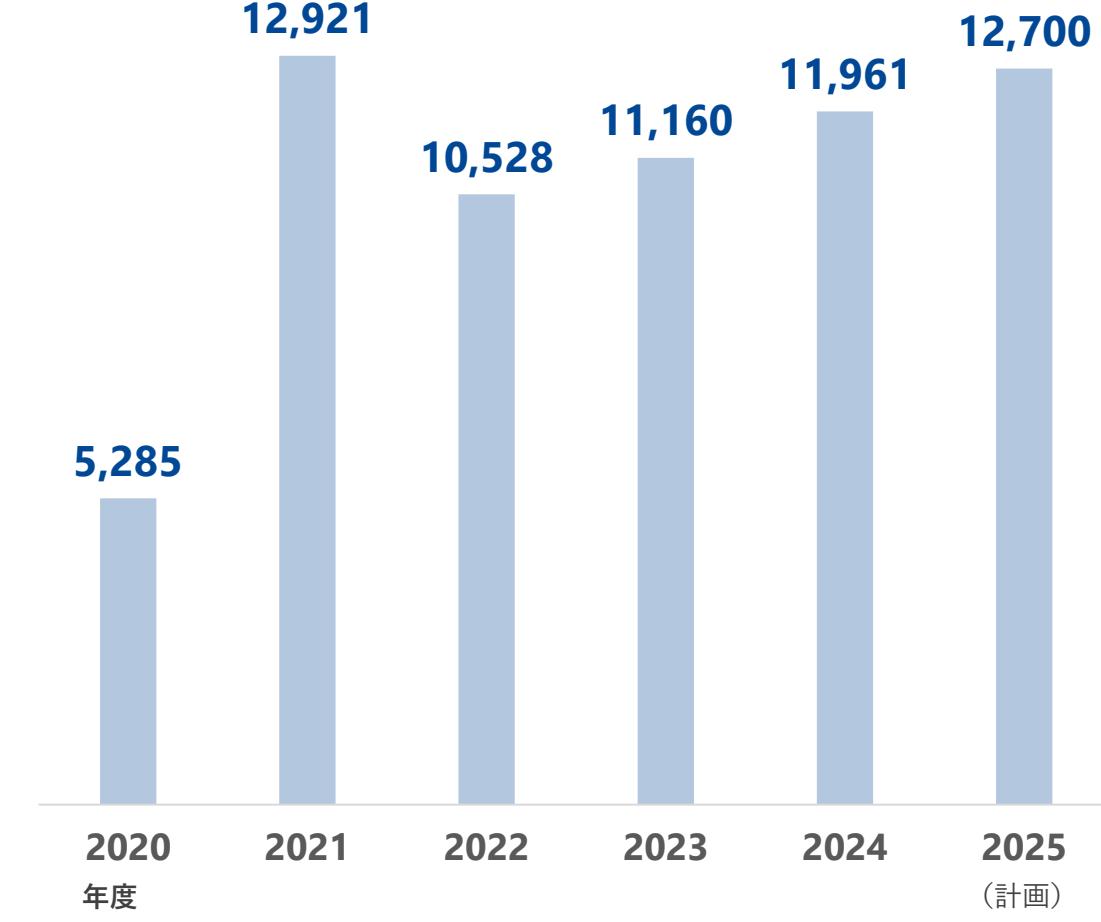
研究開発費（売上高研究開発費比率）

(百万円)



当期純利益

(百万円)



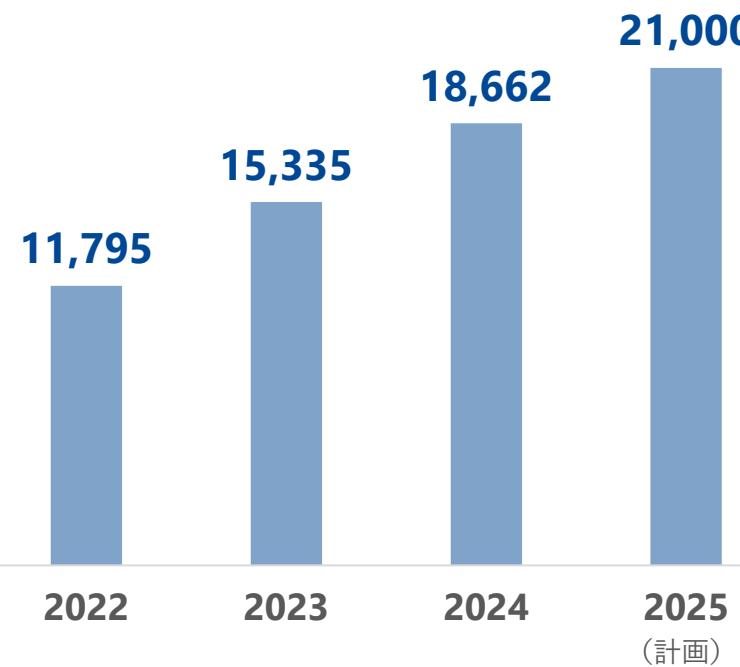
過活動膀胱治療薬

潜在患者数が多い疾患領域において国内トップシェアを獲得しており、今後も安定した成長が期待できる。

発売 2018年11月

売上推移

(百万円)



過活動膀胱 (OAB) とは

突然起こる強い尿意や頻尿、夜間頻尿などを特徴とし、日常生活の質(QOL)を大きく低下させる疾患。受診率が低く潜在患者が多い点が特徴である。

国内推定患者数

約1,250万人※



急にトイレに行きたくなり、尿が漏れそうになる。



夜中に排尿のために1回以上トイレに起きる。昼間の排尿回数が多くなる。



トイレまで間に合わず、尿を漏らしてしまう。

透析そう痒症治療薬

注射剤であることから早く安定的な効果を得られ、多くの薬剤を服用する透析患者さんに対して、服薬負担軽減にも貢献している。

発売

2023年12月

売上推移
(百万円)

8,000

5,284

757

2023
年度

2024

2025
(計画)

透析そう痒症とは

透析患者さんに多くみられる、強い皮膚のかゆみを特徴とする疾患。かゆみの原因はいまだに特定できていないが、治療薬や透析の方法、保湿剤によるスキンケア、生活環境の見直しで改善できることがある。

国内推定患者数

約25万8千人※



体から沸くようなかゆみ



目が覚めるほどのかゆみ

顕微鏡的多発血管炎、
多発血管炎性肉芽腫症治療薬

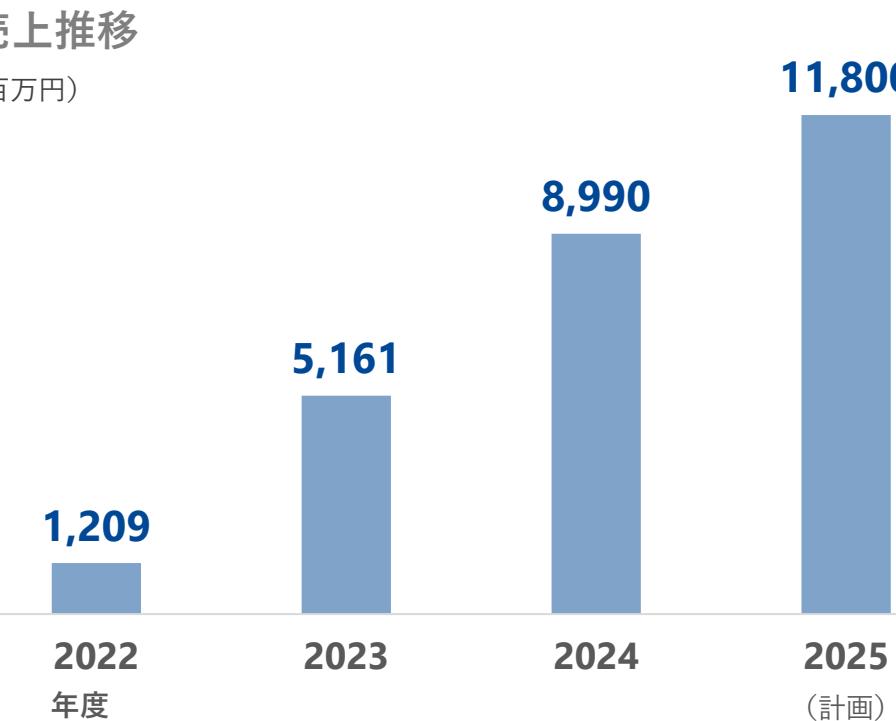
ステロイドを長期間服薬することによる副作用の軽減に貢献し、
医療現場から高く評価され、急速に売上を伸ばしている。

発売

2022年6月

売上推移

(百万円)



ANCA関連血管炎とは

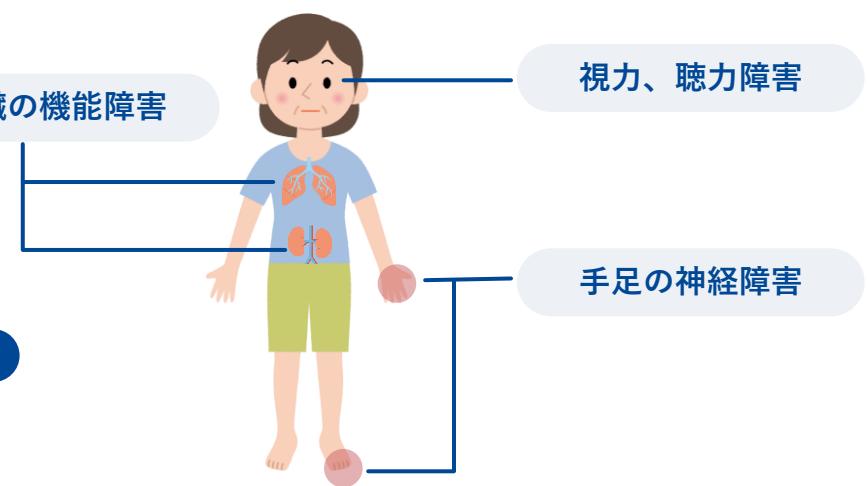
血管に炎症が起こることにより、主に全身の細い動脈・静脈が傷つけられ、さまざまな障害を引き起こす病気である。
国が指定する難病の対象になっている。

肺・腎臓の機能障害

視力、聴力障害

国内推定患者数

約1万5千人※

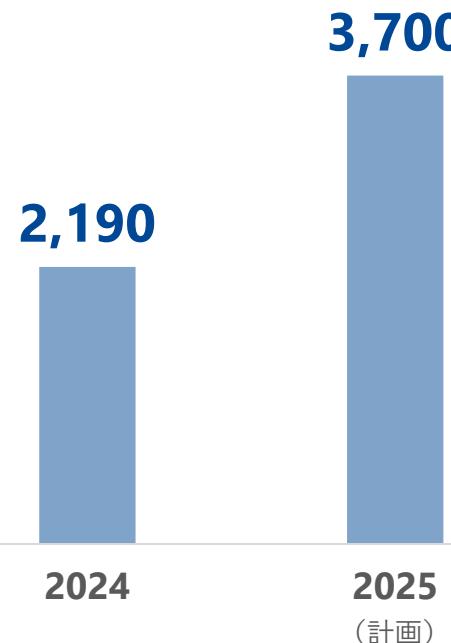


慢性特発性血小板減少性 紫斑病治療薬

既存治療では血小板が上昇しない患者さんに対して、
新たな作用機序を持つ薬剤として売上は順調に伸長している。

発売 2023年4月

売上推移
(百万円)

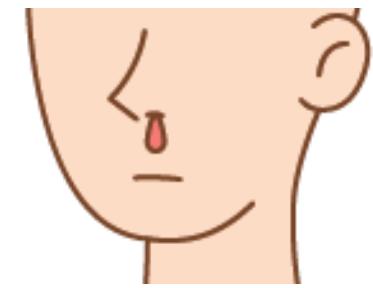


慢性特発性血小板減少性紫斑病とは

血小板が減少し、その結果として出血の危険が高まる病気であり、
国が指定する難病の対象になっている。

国内推定患者数

約1万6千人※



2026年1月時点

一般名／開発番号	予定適応症	開発ステージ					開発区分等	
リンザゴリクス/KLH-2109 (製品名: イセルティ)	子宮筋腫	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	承認申請中	承認取得	発売準備中	創製品
	子宮内膜症	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	承認申請中	承認取得		
Cretostimogene grenadenorepvec / CG0070	高リスク患者における筋層非浸潤性膀胱がん	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	承認申請中	承認取得	導入品 / CGオンコロジー (米国)	導入品 / 塩野義製薬
		第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	承認申請中	承認取得		
ロバチレリン / KPS-0373	脊髄小脳変性症	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	承認申請中	承認取得		
Matsupexole / KDT-3594	パーキンソン病	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	承認申請中	承認取得		創製品
Olutasidenib	再発 / 難治性 急性骨髓性白血病	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	承認申請中	承認取得		導入品 / ライジェル (米国)
KSP-0914	バセドウ病	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	承認申請中	承認取得		創製品

第Ⅰ相：少数の健康成人に新薬を投与して、薬の安全性や薬物動態を確認する試験

第Ⅱ相：少数の患者に新薬を投与して、適切な投与量や投与方法を確認する試験

第Ⅲ相：多数の患者に新薬を投与して、既存薬やプラセボなどと比較した有効性や安全性を確認する試験

子宮筋腫治療薬

女性の約70%以上が発症※1すると言われており、潜在患者が多く患者さんの生活の質（QOL）や社会活動※2に重大な影響を及ぼす疾患のため、治療ニーズが高い。



- ☑ 当社が創製した子宮筋腫の各症状を改善する内服薬。
- ☑ 国内では2025年12月に製造販売承認を取得し、発売の準備を進めている。
- ☑ 子宮内膜症の治療薬としても開発を進め、国内第Ⅲ相臨床試験が進行中。
- ☑ 2024年9月よりドイツをはじめ、欧州8カ国にて発売されている。

子宮筋腫とは

子宮にできる良性腫瘍で、過多月経、貧血、下腹痛などの症状をきたす。働き盛りの30~40代に好発すること、「生理だから仕がない」という考えが根強いことから、受診率の低さが特徴的な疾患。

受診者数

約27万4千人※3

国内推定患者数

約270万人※4



下腹痛



貧血



過多月経

※1 Elizabeth A. Stewart, Shannon K. Laughlin-Tommaso, William H. Catherino, Sujata Lalitkumar, Deveshana Gupta & Beverley Vollenhoven. Nature Reviews Disease Primers volume 2, Article number: 16043 (2016)

※2 経済産業省「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」 https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/downloadfiles/jyosei_keizaisonshitsu.pdf

※3 令和5年厚生労働省患者調査（受診者数） <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/10syoubyo/>

※4 厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業）ライフステージに応じた女性の健康状態に関する疫学的研究

2026年1月時点

一般名	予定適応症	開発ステージ	実施国・地域	提携企業
リンザゴリクス (Linzagolix)	子宮筋腫	第Ⅰ相 第Ⅱ相 第Ⅲ相 承認申請中 承認取得 → 発売準備中	台湾	シンモサバイオファーマ (台湾)
		第Ⅰ相 第Ⅱ相 第Ⅲ相 承認申請中 承認取得	3ヵ国*	セラメックス (英国)
	子宮内膜症	第Ⅰ相 第Ⅱ相 第Ⅲ相 承認申請中 承認取得	韓国	JWファーマ (韓国)
		第Ⅰ相 第Ⅱ相 第Ⅲ相 承認申請中 承認取得	台湾	シンモサバイオファーマ (台湾)
		第Ⅰ相 第Ⅱ相 第Ⅲ相 承認申請中 承認取得	3ヵ国*	セラメックス (英国)
シロドシン (Silodosin)	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	第Ⅰ相 第Ⅱ相 第Ⅲ相 承認申請中 承認取得	ベトナム	エーザイ (日本)

* ブラジル、南アフリカ共和国、メキシコ

創製品のライセンスアウトによる海外展開

○ ユリーフ® / シロドシン

前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬

○ イセルティ®/ リンザゴリクス

子宮筋腫、子宮内膜症治療薬

○ グルファスト®/ミチグリニド

2型糖尿病治療薬

欧洲 8カ国

欧洲・中東・アフリカ・
オセアニア 47カ国

アジア 13カ国

アジア 7カ国

米国 1カ国

「薬と食の両面から健康を支える」ことを使命とし、
介護が必要な方やご高齢の方、腎臓病患者さんなどに向けた食品を開発・販売しています。

介護・高齢者向け食品



- とろみ調整食品
- のみや水
- えねばくゼリー など

たんぱく質調整食品



- 新ゆめごはんシリーズ
- ゆめシリーズ
- げんたシリーズなど

エネルギー補給食品



- アガロリーシリーズ
- マクトンシリーズなど

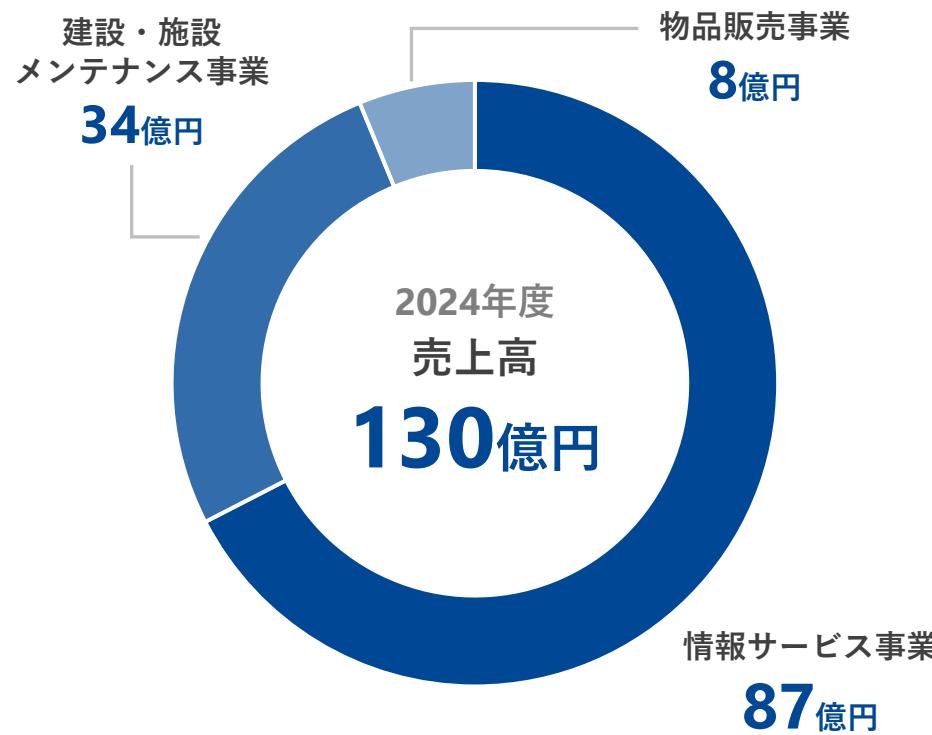
その他



- 塩分調整食品
- 減塩げんたしょうゆ など
- カロリー調整食品
- ゼリックスノンシュガー など

その他の事業（関連会社）

キッセイ薬品の医薬品事業に加えて、キッセイグループとして情報サービス事業、建設・施設メンテナンス事業、および物品販売事業の3つの事業を展開しています。



情報サービス事業

キッセイコムテック株式会社

- ・システムインテグレーションサービス
- ・システムリソースサービス
- ・メディカルシステム開発・販売
- ・情報関連機器販売

建設・施設メンテナンス事業

ハシバテクノス株式会社

- ・総合建設業
- ・一級建築士事務所
- ・宅地建物取引業
- ・工場・ビル管理事業

物品販売事業

キッセイ商事株式会社

- ・麵類の開発・生産・販売
- ・資材の仕入れ・販売
- ・保険代理店業



成長戦略

目指す姿と中期経営計画Beyond 80

Beyond 80

2025～2029年度

- ✓ 将来に向けた成長投資
- ✓ 創薬テーマの拡充と成長ドライバーの獲得
- ✓ 国内医薬品の拡大と成長
- ✓ 海外ライセンス収入の拡大

PBR

1倍超

ROE

8%以上

EPS

400円以上

売上高

1,100億円以上

研究開発費控除前
営業利益

290億円以上



創薬研究開発型企業としての成長

2030～2034年度

- ✓ 創製品の継続的な上市により医薬品事業を拡大
- ✓ 創薬を中心に、研究開発パイプラインを拡充
- ✓ 新たな海外収益基盤を構築
- ✓ 環境経営を推進し、脱炭素・循環型社会の実現に貢献

ROE

10%以上

10年平均成長率 (CAGR)

売上高

5%以上

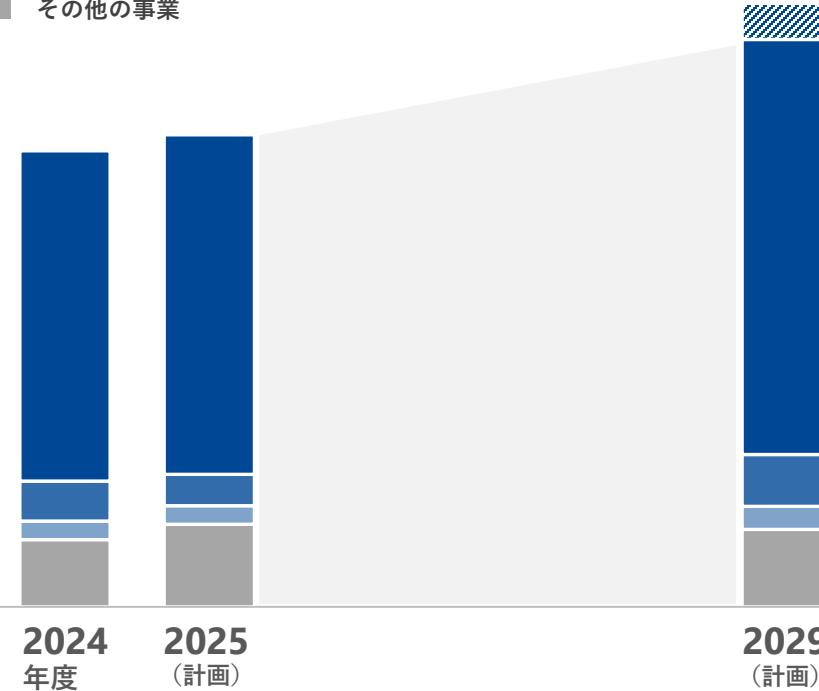
研究開発費控除前
営業利益

10%以上

Beyond 80の成長戦略

将来に向けた成長投資により、本業での収益性を高め、売上高1,100億円以上を目指す。

- Beyond 80中の新たな施策
- 国内医薬品
- 海外ライセンス
- ヘルスケア食品
- その他の事業



将来に向けた成長投資

- 研究開発、IT、設備への積極投資
- 自己資本の圧縮と株主還元の強化

創薬テーマの拡充と成長ドライバーの獲得

- 創製品KSP-0914などの早期開発
- 領域および成長戦略に合致したライセンスイン
- 低分子にフォーカスした創薬研究の推進

国内医薬品の拡大と成長

- 4品目6適応症の上市
- 前中計で上市した新薬4製品の市場拡大
- 希少疾病・難病の情報提供体制強化

海外ライセンス収入の拡大

- リンザゴリクス（イセルティ）のグローバル展開
- 創薬テーマの早期ライセンスアウト

Beyond 80期間中に上市を目指す4品目6適応症

婦人科

リンザゴリクス
KLH-2109

製品名：イセルティ®

予定適応症
子宮筋腫
子宮内膜症

特長
対象患者数は年々増加しており、
新たな選択肢として期待。

希少疾病・難病

**Cretostimogene
grenadenorepvec**
CG0070

予定適応症
高リスク筋層非浸潤性膀胱がん
中リスク筋層非浸潤性膀胱がん

特長
膀胱全摘除術が対象となる
患者さんに対して、
局所投与で膀胱の温存を期待。

希少疾病・難病

ロバチレリン
KPS-0373

予定適応症
脊髄小脳変性症

特長
患者さんからのニーズが高く、
治療薬の満足度向上に期待。

希少疾病・難病

Olutasidenib

予定適応症
急性骨髓性白血病

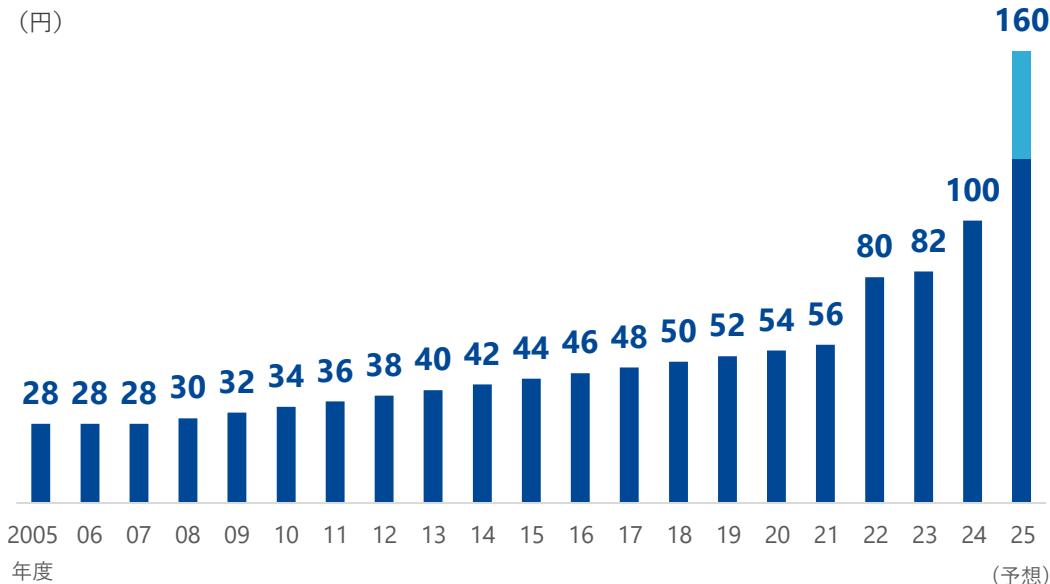
特長
寛解率が高く、寛解維持期間が
長いことから、輸血に依存しない
治療の実現に期待。



株主還元方針

利益配分に関する基本方針 ①

年間配当金推移



配当利回り



2026年3月期の年間配当

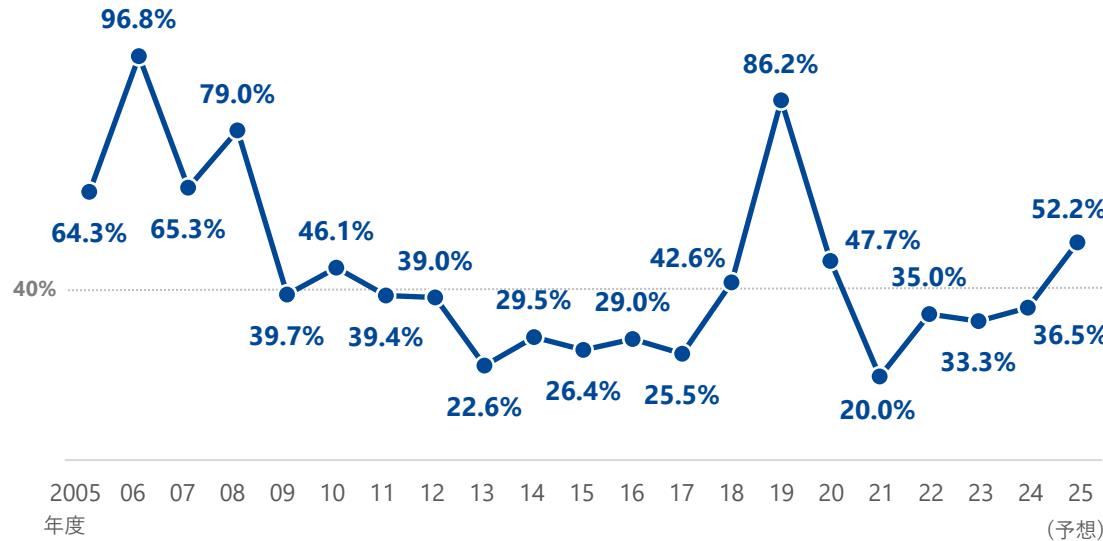
(円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
実績	—	60.00	—	—	—
予想	—	—	—	普通配当 60.00 記念配当 40.00	160.00

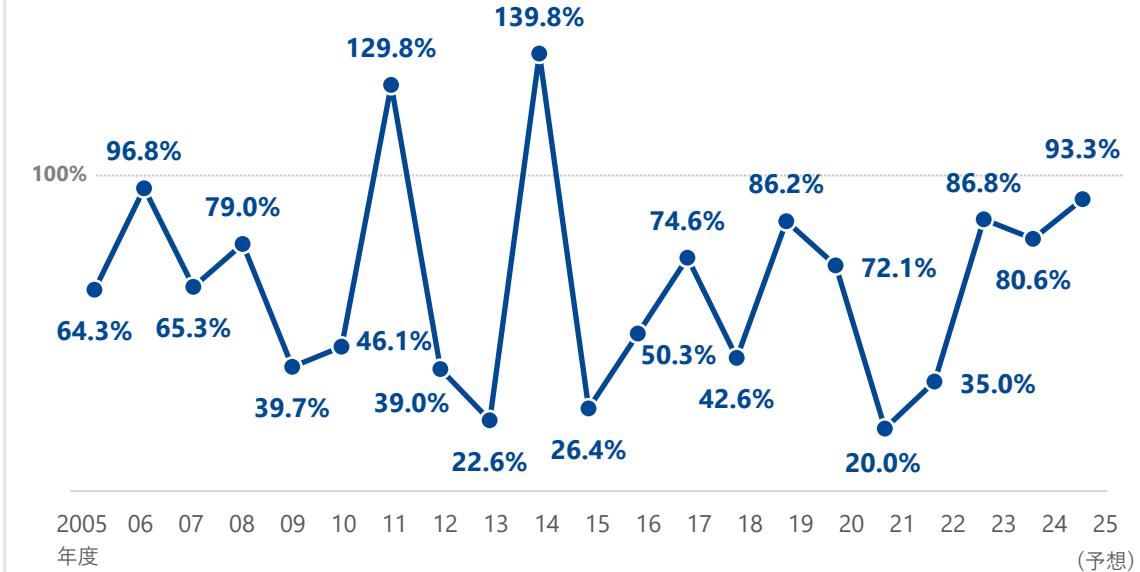
✓ 18期連続の増配予定

利益配分に関する基本方針 ②

配当性向



総還元性向



- ✓ 累進配当（普通配当）を継続するとともに、配当性向40%以上を目指す
- ✓ 自己株式の取得・処分 資本効率の向上と株主還元の拡充を図る

過去10年間の株価の推移

— キッセイ薬品 — 医薬品セクター — TOPIX

(指数)

240

220

200

180

160

140

120

100

80

60

2016/1

2016/11

2017/9

2018/7

2019/5

2020/3

2021/1

2021/11

2022/9

2023/7

2024/5

2025/3

2025/12

かけがえのない命のために、 たくさんの笑顔と出会うために

美しい自然と人の暮らしが響き合う、まるでシンフォニーのように。

キッセイ薬品はこの信州で、新薬の研究開発に取り組んでいます。



KISSEI

本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2026年2月時点での分析に基づいています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。